

動画解説まとめ 26 / AI活用

Claude Codeで日々の仕事を手順化する入門ガイド

ニュース収集やショート動画編集の実演から、Claude Codeに仕事を任せる流れを整理。フォルダの準備、手順の登録、結果の直し方、定期実行の確認までまとめました。

この動画の要点

Claude Codeを使い、普段の仕事をAIに進めてもらう方法を、りょうさんとの実演で紹介する動画です。中心になるのは、繰り返す仕事の手順を保存するスキル機能。ニュース収集とショート動画編集を例に、材料を渡す、必要な条件を答える、結果を確認して直す流れを扱っています。作業フォルダや相談役の準備、スマートフォンからの依頼、定期実行の設定も整理し、実演で完了した部分と確認が必要だった部分を分けてまとめました。

01 繰り返す仕事は、手順や判断基準をスキルとしてまとめる。

02 AIへ素材と条件を渡し、完成した結果を見て具体的に修正する。

03 ニュースの採用基準など、不要な結果が出た理由を言葉にする。

04 外出先からの依頼と定期実行では、動く場所や接続条件を確認する。

05 設定の完了だけで判断せず、実際に一度動かして不足を見つける。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【今日からAI自動化を始めよう】0から超初心者向け徹底解説AIエージェント入門Claude Codeの使い方を超初心者向け徹底解説【AI副業】

<https://www.youtube.com/watch?v=F1JFCT05Vs0>

一連の仕事と、その進め方をセットで渡す

動画の該当箇所 3:03 / タップして開く

動画では、質問へ一回答える使い方から、調査や資料づくりなど複数の作業をまとめて進める使い方へ話を広げています。たとえば、調べた内容を整理して資料へ仕上げる仕事では、調査だけで終わらず、その後の作業も続けてもらう考え方です。

その土台として紹介されるのがスキルです。りょうさんは、仕事のマニュアルをフォルダへ置いてAIに参照させるようなものと説明しています。毎回長い指示を書き直す代わりに、仕事の進め方を登録して呼び出します。自分の本や文章などを材料にして、普段の仕事に合う形へ整える例も挙げられます。

大切なのは、機能の名前を覚えるだけで終わらせず、いつも何を調べ、どの情報を残し、どんな形で受け取っているかを具体化することです。後のニュース収集や動画編集の実演では、この判断基準と作業の順番が、繰り返し使う手順になっています。

- ・ 仕事の入り口となる素材や情報を決める。
- ・ 途中で必要になる判断と作業をまとめる。
- ・ 最後に欲しい完成物まで伝える。

ニュース収集は、欲しい情報の基準を直して育てる

動画の該当箇所 9:01 / タップして開く

ニュース収集の実演では、登録済みのスキルを呼び出すと、AIがXなどを調べて情報をまとめます。長い依頼文をその都度書かなくても、調べる内容と出力の条件が手順に入っているため、同じ仕事を開始できるという見せ方です。

ただし、最初から欲しい情報だけが集まったわけではありません。りょうさんは、以前は不要なニュースも混じっていたため、『こういう情報はいらない』と伝えて直してきたと話しています。単にClaudeが人気になっているという話より、新しく使えるようになった機能など、実用に関わる更新情報が欲しいという違いです。

この例から読み取れるのは、出力を見て採用と不採用の理由を伝えることの大切さです。『もっと良くして』だけでは、AI側も何を変えるべきか定まりません。どの記事が不要で、何が不足しているのかを示し、次に繰り返すときの基準へ反映させています。

- ・ 登録した収集手順を呼び出す。
- ・ 集まった情報を読み、使いたい内容が確認する。
- ・ 不要な情報の種類を伝え、選び方を調整する。

ショート動画は、素材と編集条件を渡して仕上がりを見る

動画の該当箇所 11:01 / タップして開く

ショート動画編集では、登録済みの編集スキルを呼び出し、どの動画を使うかという質問に答えるところから始まります。実演では、パソコン内を探してもらうのではなく、その場で素材を添付すると伝えています。途中で挿し込む映像や画像、上部のタイトル表示、BGMについても質問され、この回は付けない条件で進めます。

素材には、わざと言いよどみや間を入れたトーク動画を使用しています。完成例では、不要な間がカットされ、字幕や効果音が付いた短い動画になっています。原素材と結果を見比べることで、どこが整理されたかを確認できる実演です。

一方で、効果音が期待どおりでない箇所などにも触れており、毎回すべてが完璧になるとは説明していません。AIに任せられる範囲が増えても、カットのつながり、文字、音を見て完成品として使えるか判断する工程は残ります。今回はBGMなどを付けない指定の結果であり、あらゆる編集パターンの完成を確かめたものではありません。

- ・ 編集する原動画を渡す。
- ・ 追加映像、タイトル、BGMなどの質問に答える。
- ・ 原動画と編集後を比べ、カット・字幕・音を確認する。

作業フォルダと、仕事を相談する土台を用意する

動画の該当箇所 15:01 / タップして開く

初期準備の説明では、Claudeのデスクトップアプリを入れ、Codeを選び、新しく作った作業フォルダを指定します。フォルダを決めることで、どの場所の資料やファイルを扱って仕事を進めるかを定める流れです。画面の名称や配置は撮影時点のものとして読みます。

続いて、別途用意された指示文を使い、仕事を相談する『AI秘書』を準備しています。名前、呼び方、話し方、普段どんな仕事をしているか、困っていることなどを聞かれ、それに答えながら整えています。すべてを最初に決めきる必要はなく、後で答えると伝える場面もあります。

準備後は、何を自動化したいかを相談し、必要な手順づくりを手伝ってもらいます。動画中では指示文の全文を読み上げていないため、この資料に同じものを再現したプロンプトは載せていません。実用上の主題は、普段の仕事と困りごとを伝え、必要なスキルを一緒に考えるという進め方です。

- ・ 使用する作業フォルダを選ぶ。
- ・ 普段の仕事内容と、時間がかかる部分を伝える。
- ・ 作りたい手順が決まらなければ、候補から相談する。

作業を分けて進め、外出先からの依頼条件も押さえる

動画の該当箇所 21:05 / タップして開く

複数の仕事を進める工夫として、画面を分割し、調査を待つ間に別の仕事をする使い方が紹介されます。仕事に名前を付ける、よく使うものを固定する、未確認の結果を見分けるといった整理も実演されています。ただし、初心者は一画面から始めるよう話しており、最初から同時進行を増やすことが前提ではありません。

Dispatchでは、スマートフォン側からパソコンへ仕事を依頼する流れを紹介しています。移動中に調査や動画企画などを依頼し、パソコン側で作業を進めるという使い方です。動画では、パソコンの接続や起動状態が必要で、閉じて切断されれば使えない点にも触れています。

操作できる場所が増えても、作業を実行する環境が整っていなければ進みません。外出先から頼む用途では、スマートフォンから指示できることと、パソコンで実際に動いていることを分けて確認する必要があります。

- ・ 最初は一つの仕事を最後まで試す。
- ・ 慣れたら仕事ごとに名前や表示を整理する。
- ・ 外から依頼する場合は、実行側の接続状態も確認する。

定期実行は、一度動かして不足している情報を見つける

動画の該当箇所 24:11 / タップして開く

ルーティン機能の説明では、毎朝ニュースを集めるなど、決まった時間に仕事を始める用途が挙げられます。動画ではローカルとリモートの選択肢を説明し、ローカル側はパソコンが動いている必要があるとしています。具体的な提供条件や対応範囲は、利用時の画面に合わせて確認する前提です。

実演で作るのは、YouTubeチャンネルの最新動画を調べ、URL、タイトル、再生数などを確認する仕事です。名前と依頼内容、実行する時間を設定した後、その場で実行しています。ここでAIから、対象チャンネルのURLが書かれていないという指摘が返ってきました。

この場面は、調査が最後まで成功した完成例として扱うべきではありません。設定は作れても、調べる対象が渡っていなければ作業は進められないという確認例です。時間の設定に加え、対象URLなどの入力情報が揃っているかを、試運転で確かめる意味があります。

- ・ 繰り返したい仕事と実行時間を設定する。
- ・ 対象URLなど、仕事に必要な情報を渡す。
- ・ 一度実行し、不足情報や期待と違う結果を直す。

実践の進め方

01 まず繰り返す仕事を一つ選ぶ

動画の話を実践順に整理すると、まずはニュース収集や素材動画の編集など、自分が普段行う仕事を一つ選び、何を受け取れば完了かを言葉にします。

動画 3:03

02 作業場所と仕事内容を伝える

作業フォルダを選び、普段の仕事や困っている部分を説明します。どの手順を作るか迷う場合は、その候補から相談します。

動画 15:01

03 素材と条件を渡して動かす

動画編集の実演のように、必要な素材を渡し、追加映像やBGMなどの条件に答えます。仕事の開始に必要な材料を揃えます。

動画 10:03

04 結果への修正を具体的に伝える

ニュース収集の例では、不要な情報の種類を説明して収集基準を直しています。出来上がった結果を見て、どこをどう変えたいかを示します。

動画 9:01

05 定期実行も試運転する

繰り返す設定を作ったら、その場で一度動かします。動画の例では対象チャンネルのURLが不足していたため、必要な入力揃っているかを確認します。

動画 25:00

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部の活用例】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めてください。私が繰り返している仕事を一つ選び、入力する素材、判断基準、作業の順番、欲しい完成物、結果の確認方法を整理してください。動画で紹介された別配布の指示文を知っている前提にせず、不足情報は私に確認してください。

資料について

- ・ 動画の自動字幕をもとに、実演と説明の要点をまとめています。
- ・ 機能名、画面、利用条件は撮影時点の紹介です。利用時の提供内容を確認してください。
- ・ 定期実行の実演は、対象URLの不足が判明した段階までです。完成した自動調査の実績を示すものではありません。
- ・ 編集結果や作業時間は動画中の個別例です。同じ結果や収益を保証するものではありません。